

ほくぶNNだより

第25号
令和4年6月発行

Lineup

	頁
田んぼダムコンソーシアム総会・「田んぼダム」シンポジウムを開催しました	1
災害復旧工事が完了しました	2
農地整備事業高城地区でストーンクラッシャーによる石礫破砕の現場見学会を行いました	
川渡小学校の五年生が田植えを体験しました	3
北部管内農業用排水施設安全対策委員会・幹事会を開催しました	
管内概要図「令和4年度版 大崎・栗原地域の農業農村整備」が完成しました	4

宮城県田んぼダム実証コンソーシアム総会・「田んぼダム」シンポジウムを開催しました

令和4年6月10日、パレット大崎にて「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム総会・「田んぼダム」シンポジウム」を開催しました。

宮城県では、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」のひとつとして、水田の持つ雨水貯留機能を最大限に活用し、下流への雨水流出を抑制する「田んぼダム」の取組を推進しています。

「田んぼダム」の普及拡大にあたっては、関係者が協働で取り組むことが重要であることから、昨年6月に本コンソーシアムを設立しました。

宮城県田んぼダム実証コンソーシアム総会

令和4年度のコンソーシアム総会を開催し、これまでの活動状況報告及び令和4年度取組方針の確認を公開で行い、コンソーシアム会員以外にも田んぼダムの取組みについて周知を図りました。



令和3年度は、主にコンソーシアム会員からなるワーキングでの田んぼダムの具体的な取組みや方針についての検討会の実施、小中高の学校と連携した出前講座や現地見学会等の普及・広報活動、農地整備事業千刈江地区での効果検証事業の実施等に取り組みました。

「田んぼダム」シンポジウム

コンソーシアム総会後には、田んぼダムについての理解醸成と県内全域への普及・促進のため、「田んぼダムシンポジウム」を開催し、大崎市千刈江地区の効果検証状況及び山形県での田んぼダムの先進事例の発表を実施しました。

動画で田んぼダムを解説！



県農政部農村振興課HPでは田んぼダムの模型を使った実験動画を公開しています。



宮城県



広報大賞 受賞

宮城県と大崎市が中心に実施した田んぼダムに係る広報活動は、全国農村振興技術連盟が主催する「令和3年度農業農村整備事業広報大賞」において最高賞である「広報大賞」を受賞しました。

地元の学校での出前講座や大崎耕土における「現代版巧みな水管理」として多角的にPRを行った点などが評価されました。



▲小学校での出前講座

災害復旧工事が完了しました

北部管内では令和元年の台風19号の暴風雨により水利施設が被災したため、当部では令和2年度から復旧工事を実施してまいりました。この度、復旧工事が完了しましたので概要をご紹介します。

施設名	施設名	事業量	詳細	復旧概要	工事完成日
加美郡西部土地改良区	小田刈用水路	水路復旧 8.3m	コンクリート水路	開水路で復旧	令和4年1月20日
色麻土地改良区	入合堰	護岸（一部）復旧 一式	コンクリート固定堰	頭首工護岸の一部を復旧	令和4年4月19日
色麻土地改良区	志津大堰	頭首工復旧 一式	ふとんカゴ堰	頭首工を復旧	令和4年3月28日
色麻土地改良区	明神堰	頭首工（一部）復旧 一式	コンクリート固定堰	頭首工の一部を復旧	令和4年2月28日



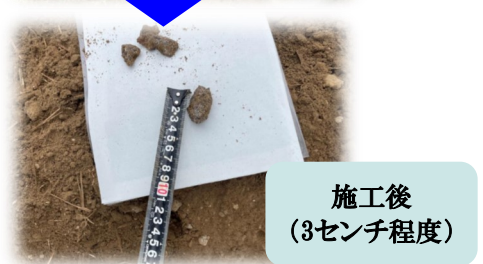
農地整備事業高城地区でストーンクラッシャーによる石礫破碎工の現場見学会を行いました

令和4年4月14日、加美町と色麻町に跨がる農地整備事業高城地区(H22～)のほ場で、若手職員を対象にストーンクラッシャーによる石礫破碎工の現場見学会を行いました。

高城地区は山間地の川沿いに位置するため石礫の多い地盤で、石礫があると営農の障害となります。

そのため、石礫の処理方法を「撤去」と「破碎」で地元を含めて比較検討し、破碎を採用しています。

施工前はこぶし大程の石礫が散見されましたが、施工後は3センチ程に破碎されました。



川渡小学校の五年生が田植えを体験しました

令和4年5月10日、大崎市鳴子温泉にある川渡小学校の5年生15名が総合的な学習の一環で田植えを体験しました。

川渡小学校では平成22年度から中山間地域等直接支払交付金の集落協定^{だいしゃく}である「大尺集落協定」と連携して田植え体験を行っています。

中山間地域等直接支払交付金とは、中山間地等の農業生産条件の不利を補正し、地域の農業生産活動を維持するための活動を支援する制度です。

この日は晴天で、絶好の田植え日和となり、児童は集落協定の方から稲の植え方を教わりながら苗を植えていきました。開始直後は、思うように苗が植えられなかったり、足が抜けなくなったりする児童もおり、苦戦していた様子でしたが、後半は足下にも慣れ、集中力も増し植え方も上達したようでした。

田植えを体験した児童からは、「倒れないように苗を植えるのが難しかった」といった感想が聞かれました。

大尺集落協定では傾斜地で不利な営農条件のなか、農道、水路、法面の草刈りや水路の泥上げ等の維持管理を実施しつつ、学校と連携した体験学習を行い、地域の将来を担う世代が食育、環境保全を学ぶ取組みを継続し、後継者の育成、地域



棚田での田植え



北部管内農業用排水施設安全対策委員会・幹事会を開催しました

本委員会は、農業用排水施設における水難事故を未然に防止するため、関係機関と連携し、その対策の検討や事故防止の周知徹底を図ることを目的として、平成30年に設置されたものです。

今年度は4月19日に委員会、5月23日に幹事会を開催しました。

委員会及び幹事会では、構成員である管内の市町・土地改良区に、農業用排水施設の点検パトロールの実施や、水難事故防止のための広報誌などによる注意喚起を依頼しました。また、安全対策の実施状況や、安全施設設置のための事業などの情報共有も行いました。

また、当部でも、引き続きホームページや広報紙で水難事故防止に向け注意喚起を行って参ります。

県内における水難死亡事故は、ほぼ毎年発生している状況です。今年度は、4月に栗原市内のため池で児童が亡くなるという大変痛ましい事故がありました。

農業用排水施設での事故は、子供や高齢者が犠牲になってしまふことが多くなっています。例えば、子供では、大人を真似てため池などの危険な場所へ入り、転落してしまうという事例が多く、高齢者では、堤防や用水路のそばなどを散歩中に落ちてしまうという事例が多くなっています。もし、ため池や用排水路に落ちてしまうと、ため池では貯水池側の斜面がゴムシートの場合、滑りやすく登るのが難しく、用排水路では水の流が急で立つことができなくなるなど、脱出が困難となります。

悲惨な事故をゼロにするために、県民の皆様におかれましては、ため池や用排水路などの危険な場所には絶対に近付かないようお願いいたします。



管内概要図「令和4年度版 大崎・栗原地域の農業農村整備」が完成しました

概要図には、大崎・栗原管内の県営事業及び団体営事業地区の概要、地区の進捗率、地区の位置及び受益図等、業務の参考となる情報が掲載されています。配布等をお考えの場合は、北部NN計画調整班までご相談ください。

PDF版は下記からダウンロードできます。

[〈令和4年度農業農村整備事業概要資料【大崎・栗原地域の農業農村整備】〉](#)



宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代表)

FAX 0229(23)5014

ホームページ [〈http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/〉](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/)

大崎地域観光PR Facebook 「アイラブオオサキ」[〈https://m.facebook.com/loveosaki?_rdr〉](https://m.facebook.com/loveosaki?_rdr)

